

板取地域づくりアンケート

結果報告書

(自由意見)

○自治会・コミュニティ活動	27
○過疎対策・産業振興	28
○防犯・防災・交通	29
○日常生活・公共交通	30
○子育て・青少年支援	30
○高齢者支援	31
○生涯学習・スポーツ・イベント	32
○自然・環境保全	33
○地域づくり全般	34
○その他	37

問28 板取地域について、あなたの意見をご自由にお書きください。

【自治会・コミュニティ活動】

(50～59歳)

各地区の役員、委員の数が多すぎる。せめて1人1役くらいにしたらどうですか。板取北部は1人2、3役こなしている。
自治会が高齢化しており、年金暮らしが多いですが、お宮の管理、連合自治会への負担金、集会場の管理などの経常経費の負担が多く大変です。コミュニティ助成金は減る一方です。市内は人も多いのでいいかもしれませんが、増やす見直しもお願いしたい。
地区集会場を地区に移管する方向で進んでいるが、昭和52年に建築された建物の移管はできませんし、避難所になっていますが大丈夫ですか。

(60～69歳)

何をするにも気を使わない友達がいることが一番。
1人きりの人も悲しいので大事にする。
板取地域は川沿いに道路が曲がりくねって走り、部落も分かれてあるため、何々地区と呼んでいるようです。この部落間の隔たりをなくすことが一番に行うべきことだと思います。
ここで生活する以上、いろんなことに協力していかなくてはと思う。でも、人間関係のわずらわしさをいつも考えてしまう。いきいき楽しく行事に参加できるように、心していなくてはと思っている。
自治会役員数が多いため、各自治会の合併をして持ち回り制にして、1人で多くの役員をなくして個人の負担をなくす。
各地区の世話人を育てる方法を考える。隣同士、言葉をかけ合う場を設置してほしい。

(70歳以上)

人と人の輪が欲しい。
板取に生まれとてもよかったと思われるような地域であってほしいです。80歳過ぎの人たちが耳にする言葉をよく聞きます。何も楽しいことがないから早くお迎えが来てくれればいい、といわれることを聞きます。1人でも板取にいてよかったと言われるような地域であってほしい。
ボランティア活動が大事だと思う。
昔は子供会や婦人会等があって、皆で集まって話したり日帰り旅行などがあったけど、車の運転ができるようになると、婦人会もなくなって皆で集まることがなくなり、現金収入の道を選ぶようになったので、近所づきあいがだんだんなくなってきたと思います。
会社を退職した人たちが気軽に参加できるような集まりができると良いと思います。
戦中戦後を思い起こし、助け合いの精神を大切に進めなければ地域は良くならない。
奈良県野迫川村は日本一の過疎地、人口500人余り。しかし、生き生きしている。参考にしてみたいかがでしょうか。
現在、自治体が活動している事業は、大変満足のできることで、事業内容に当たり地域外に住んでおられる後継者の方々と共に活動できると、互いに絆が生まれると思います。
年に1回位は、市長さんと住民との話し合いがあってもいいと思う。
昨年、関市の広報に書いてありましたことを思い、お伺いしたいと思います。
役員さんの方々は本当にご苦労さまだといつも思い感謝しております。2年間役を続けた方は変えるようにと書いてありましたが、板取はそうしたことはどのようにされているのでしょうか。そうした事実が守れずして、また行政には届かない不満、そんな音のない役員さんはたくさん板取に実在していて、活気すらなく後退するのみのように思います。反感を買い、決して良いことではありません。
自治会長さん以外の役員は改革されるべきに來ているのでは。若い人を育てる期間が少なく、高齢者の役の持ち続けは、本当に考えるべき時期だと思います。
空き家の有効利用。(村外者対象)
行政が行う板取地域を活性化させるための事業の計画、状況を住民に良く広報する。

(年齢不明)

板取の人達に限りませんが、もっとボランティア精神的な気持ちがあると良いと思う。あじさいの手入れも行政やシルバーにお願いするのではなく、自分が住んでいる場所(集落間)の区間くらいは見守り、手入れをする気持ちがほしい。自分の家の周りは美しくしているが、少し離れたら全く無関心の人が多い。若いとか年がいつているとかは関係なく、ボランティアな気持ちが育っていない。小さい子供の頃から育ててほしい。(学校で教育の1つとして入れて欲しい)住みよい地域にするのではなく、自然に魅力的な板取になるのではないかな。
1年に2回ほど部落で積み立てをして旅行の計画を立て、海外と国内に行っているところがあります。とても良いことだと思っています。若い人と高齢の人との絆もしっかりして仲の良い部落でまともにも良くみえます。そんなところが多くなると、もっと元気な板取になると思います。

【過疎対策・産業振興】

(20～29歳)

もっと観光客などを来させて活性化する。

(30～39歳)

空き家や使われていない土地が多すぎると思う。使える空き家は誰かに貸したり、使えない空き家は壊すなど、土地を整理する必要があると思う。そうすれば他の地域の人ももっと関心を抱くのではないかな。高齢者ばかりになってしまうと町が衰退してしまうと思うので、若い人や地元ではない人たちにも「住んでみたい」と思えるような町づくりを心掛けるといいと思う。

(40～49歳)

働く場所がないことが一番の問題であると思います。

若者がいない地域では、何を実行しても魅力ある地域にならないと思います。

(50～59歳)

板取川を原点到、休日に「とりあえず板取に行こうか」と思えるような設備づくり（例えばゴムボート下り、パーベキュー場の充実）をして、魅力ある地域づくりを進める。

蕪山や株杉林、川浦、川遊びポイント等をPR。空き家や土地の売買は個人のものだが制約しないといけないのではないかな。かつての外国人がウロウロしていた夏が懐かしい。

若い人たちの仕事場があるといいと思います。うちの子どもたちは板取は好きだけど、ここで子育てをしたいのですが、高校のことなど、そして自分の仕事や女性の働ける場所がないため、今は板取に住むことができません。医療でも車で40分もかかり、なかなか板取では難しい。でも私はこんな板取が好きです。人もやさしいし住めば都で近所付き合いもいいからです。

私は淋しくてもこの板取が大好きです。板取に住んで見える方以外が観光で来られるように、川浦の方に、大変だけど銚子滝を改善して観光地にする。そして、そこで流しそうめんなどを営業してお客を呼ぶ。簡単ではないと思いますが、頑張っしてほしいです。そうすれば板取川温泉を利用された前後に行くこともできます。

また、温泉の近辺で週に1度イベントを日替わりで、コンサート、マジック、ふれあいサロン、カラオケ大会等を開き、町からの人が楽しんでもらえる1日になるでしょう。あとは鮎を利用できるよう、宣伝、チラシ等をどんどん出す。板取の鮎は素晴らしいです。

高齢化社会である。資金も豊富である。暇もある。高齢者を対象としたイベント、長期滞在型住環境の提供をしてはいいかな。豊かな自然を生かした溪流釣り、鮎釣り指導、山菜取り、きのこ取りの指導、イベントを気にいってもらって定住すればOKである、最初は短期間で良いから。民宿の割引、市からの補助、温泉の優遇制度等。

板取地域で働ける場所がほしい。若者から高齢者で働ける人の正社員、パート、内職等ができる場所…会社等？

山、川、農地を活かせるような企業の誘致。

働く場所が少ないのが残念。大きな工場を誘致してほしい。

板取地域が今後も存続するためには、若い人たちが板取へ帰ってくることだと思います。それには、働く場所がなければならないと思います。現在の板取には働ける場所が少ない。ほとんどの若い人は岐阜、美濃、関等の遠方に仕事に通っている状態です。また、交通の便も悪い。

(60～69歳)

和アジサイの産業化。

板取地内で若い人が働ける環境をつくってほしい。

1人の人がいくつもの仕事を持っている。ワーキングシェアをすべき。高い年金を取っている人は、関市の仕事をさせない。

まだ元気なので仕事をしたいのですが、雪が降って道路凍結で運転する自信がなく、もっと町に住んでいたらと思います。近くに働く場所があれば一番いいのに…そこら出会った人たちとまちづくりを考えると活発な意見、活動が生まれるのではないのでしょうか。

若者の仕事場所があることです。（できれば全年齢の方の）

生活用品や食料など、新鮮で安価に買える店がないと困る。自然豊かな環境を生かした観光事業に力を入れ、板取地区を活性化させる必要がある。

少しでも近いところで仕事ができるように。本当にこのままではだめになってしまいます。安心して仕事が続けられる工場の誘致ができるといいと思う。

集合住宅をつくる。

(70歳以上)

存続するためには、工場でも誘致して働き手を外に出さないようにする。

空き家がいっぱいあるから、田舎に住みたい人たちに利用してもらったらどうか。

板取の生きる方向は観光事業だと思う。町から人を呼び込むことが大事だと思う。

毎月1回、人が集まるところで農作物の販売を行う。

今は山林の価値が低いけれど、これから先、木材が高く売れるようになれば、板取に住むことが見直されるようになるだろう。

まず板取地内での仕事づくりが大事ではないですか。今までも補助金など取ってきて建物づくりをしたけれども、地内に皆が残れる仕事がないではないですか。あなたたちはどう思いますか。今でも板取を離れる人が沢山みえます。どう思いますか。心から官民一体となり、いろいろと考えて仕事づくりをすることが大切だと思う。
私たちが暮らす板取は、本当に安心して住み続けられるでしょうか。過疎になるばかりの板取、過疎だからといって何ごとも後回ししないでほしい。
板取温泉、コテージ、バンガロー等へ、多くのお客さんが来てくださることを期待しています。
自然を利用した（山、川）観光村づくり。 魅力ある農業と獣害対策。（村外者含む）
板取に働くところがないので若者は板取を出て行かれるので、働くところをつくってくださるといいと思います。
板取の店で買い物をしてください。商店もやめざるを得ないです。

【防犯・防災・交通】

（２０～２９歳）

板取は大好きですが、交通は不便ですし仕事もありません。

（３０～３９歳）

住みよい地域にするためには…道路の悪さ。雨量規制により道路が封鎖されるため、道路を違う場所に新しくつくったら。
土砂などで道路が寸断された場合、孤立してしまわないか心配。

（５０～５９歳）

除雪が年々悪くなりつつあり、昔はきちんと出勤前に済んでいたのに、住民がしなくてはいけなくなり、負担が大きいです。
野焼き、うやし、自宅でのゴミ焼却など、自由に燃やしすぎではないか。防災など、今まで大丈夫だったから今後もいいだろうと楽観視している部分があるので要注意。
郡上八幡への交通がよくなってきましたが、これからもよろしくお願いします。

（６０～６９歳）

板取は川もきれいでいいところだと思いますが、冬になると雪が降り、道路に雪が積もると車に乗るのも心配です。
道路が福井へ抜けるといい。
アジサイロードの普及。道路の川側を広く、美しくする。
板取地区は現在福井県に抜ける道路がありません。一番山奥に行くと「越前海道」なる看板が立っています。そこで提案ですが、この板取から福井県へ抜ける道路をつくってみてはいかがでしょうか。そうすれば福井県からの新鮮な魚介類も安価で入ってくるといいますし、観光客も１５６号線や東海北陸道を利用しないで、この素晴らしい道路を利用し、その中継点として板取はもっと発展していくと考えます。もちろん財政的に非常に難しい問題であるとは思いますが、板取地域の存続を考えるならばこれしかないような気がします。

（７０歳以上）

限界集落の象徴であります耕作放棄地については、持ち主も権利者もあります。枯草等は春の乾燥期になってもそのまま、火災の恐れがあります。地域近隣の方には気をつかいます。行政の徹底した強力な指導が必要と思われます。これぞ地域の住民がもっとも安心できる一つだと思います。
松場にはまだ狭い道があります。早く二車線道路にしてください。
道路を広く車、人、自転車安全に通れるようにお願いします。名古屋や全国の方が見えても分かりやすい安心できる板取を。
冬場の除雪について、宅地と道路が一緒になっている場合、サッシまで雪が飛び散り大変苦労している。排土板を平行にすることで少しは散らずに済む。業者に指導の徹底をよろしくお願いします。
バス、田口が大変です。考えてください。お願いします。
道路がとても良くなって、関市や岐阜市までが１時間以内で行けるようになった。板取に住んでもとても住みやすいと感じている。
下白谷橋とタラガトンネル入り口に防犯カメラの設置を希望します。これからの防犯対策に向けて。事故、災難があつてからでは遅すぎる。もう少し道路の陥没しているところなど、早く直して欲しい。
生活する者がいる限り、外灯は絶対に必要。

【日常生活・公共交通】

(16～19歳)

交通の便を良くしないと住むのは厳しい。スーパーなどの買い物ができる場所が無いのも辛い。交通の便をもっと充実させないと不便だし、通学も大変。若い子は早く板取を出て行きたい人が増えていると思う。

住みやすい地域にするために、バスなどの交通の改善が必要だと思う。

(30～39歳)

診療所の時間が早く終わるため、かかることが出来なかったり、土日休みで診てもらえないとか、病気によっては断られることが多くある。午後4時20分頃に子どもがけがをして、レントゲンを撮るように学校から言われて電話した時も、終わったし診療所では撮れないと断られたこともあり、仕方なく岐阜市まで走ったこともあります。小児や老人関係なく診れる医者と、時間をもっと長くとか、土曜の午前をやってほしい。

子どもを高校進学させるのに、なるべく家から通わせたいと思うので、バスの便をもう少し良くしてほしいです。特に朝の時間を考えてほしいです。洞戸で30分も待ち時間があるのはつらいと思います。

(50～59歳)

仕事場まで遠すぎて、子どもたちは帰ってきづらいと思います。

地域バスが無料はおかしいのではないのでしょうか。たとえば50円、100円でも払ってもらっても良いのでは。1日の何本かは、各地域に回ってもらったら良いと思う。

ふれあいバスに關市の町まで走ってもらいたい。1日2回か3回。中濃病院にかかりたい。

(60～69歳)

全住民が健康であること。他人を見守るのはよいが、詮索はしない。

外部の人が訪れなければ発展なし。岐阜からのバスの運行時間等、一考する必要がある。地域住民のみの交通の便を考えているのはいかがでしょうか。

日常生活の不便さ。買い物（特にスーパー）をする場所が遠い。働く場所がない。

関市の町まで乗換えなしでふれあいバスが走ると良いと思います。

(70歳以上)

今、足を痛めているので医者へ行くのも大変。バスが近くまで来ることを願っています。

板取バスが電話をかけたら家のそばまで来てほしい。（洞戸のように）

板取のふれあいバスは、人が2、3人しか乗っていないのに車が大きい。ガソリンも上がって大変なのに税金の無駄です。

ふれあいバスで関市の町まで、1日2回ほど乗換えなしで直行で走ってもらえると良い。

合併して特に悪いこと…関市の方へは交通の便が悪くてとても行けない。もう少し考えて欲しい。

板取へ来てから55年になりますが、とても良い板取です。今は交通の便も良いので、バスで板取の隅々まで行くことができ、喜んでおります。ふれあいバスをととても喜んでおります。

(年齢不明)

ふれあいバスで関市の町まで、1日2回ほど乗換えなしで走ってもらえると、中濃病院へ行くのに良いと思います。

【子育て・青少年支援】

(16～19歳)

子どもたちが地域の方々と、仲良く楽しく関われるようになるとよい。

(30～39歳)

若い世代家族に住んでもらうためにも、子育て支援を充実させてほしい。

保育料が高い、バス代も高い。地域バスなどを使うとかして無料にするか、安くなる方法はないのか。

若い世代が少ないため、子どももどんどん減っていき淋しく思います。子どもを持つ親としては、子どもが元気でこのびと学校に通うことはうれしいですが、人数が少ないことで出来ないことが多いのが淋しいです。

子どもが少なすぎます。保育園の人数、ご存知ですか。全員で20人もいないんですよ。お願いします。子どもを増やしたいです。保育園の男の子たった3人しかいないんですよ。悲しすぎます。若い夫婦はけっこう本気で引っ越そうか悩んでいます。子どもの成長が不安です。友達が少ない、ライバルが少ない、刺激がない、変化がない、子どものために今のままでいいのか。大人はいいです。でも、子どもがやっぱり大切です。

(40～49歳)

板取地域が今後も存続するためには子どもが必要。でも2年後には中学校が板取から無くなってしまつては、ますます子どもがいなくなる。このままでは板取はなくなる。
自然の美しさ、魚やドーナツのおいしさは自慢できますが、このようなことは県内いたるところにあるので、これだけでは魅力に欠けます。何回も書いては消して案を考えましたが、今以上の策も年寄りばかりでは不要かと思う。1案しか浮かびませんでした。
とりあえず、今子育て中の我が家では、洞戸との統合が気になります。子どもたちが楽しく過ごせる3年間であってほしいです。学校が無くなると寂しくなるので、何かできるといいですね。ふれあい運動会を小学校と一緒にやるとか。

(50～59歳)

少子化が進み学校がなくなると若い人たちが住めなくなり、板取地域の存続は難しくなると思う。
関市とのPTA、自治会とのつながりをもっと緩く。PTAが関市になってから関市職員がまず板取地内から関市へ。PTAの役員の負担が増えるためだと思う。板取から生徒の多い学校だとPTAの役員にならなくてもいいからだと思う。現に職員でなくてもそういう人もいます。
自治会も関市とはあまり同じことはしたくない。板取から関市までの時間も考えてほしい。
子どもの悩み、相談をするところを作ってもらふと良いですね。真剣に相談してくれる人がいない。上からの厳しい指導が欲しい。

(60～69歳)

子どもの数がすごく少なくて、若い人が住みにくいと思います。教育の面でも競争心がなくなるのではないかと思います。子どもだけでも、洞戸と一緒にすると人数も増えていいのではないかと思います。(保育園、小学校、中学校)
人口が少ないのも当然ですが、この先、子どもの数も少なく、中学校は洞戸と統合するのが決まっていますが、保育園、小学校も洞戸と一緒にした方がいいのではないかと思います。大人も子どもも洞戸ともっと交流があってもいいのではないかと思います。
若い方々が安心して生活、子育てができるようになってほしいと思います。
子供の悩み相談の場を市役所の中につくると良い。

(70歳以上)

子育て支援活動をするとうい。小学校も統合するとうい。

(年齢不明)

子どもの悩みの相談をするところがあると良いと思う。
小学校も統合するとういと思う。

【高齢者支援】

(50～59歳)

今は健康でいるのでいいが、高齢になって運転もできなくなると、医者や買い物に不便になるので心配です。子どもたちには迷惑をできるだけかけたくないの、老人ホームに入ればいいが、お金がなくて入れなかったらどうなるのか考えると不安です。
年金が少なくて1人暮らしのお年寄りは、デイサービスや老人ホームに行きたくても行けない人がいると思います。福祉の強化が必要に思います。
高齢者が集まって1日1日を楽しく暮らせる場所、集まれる場所があったら良いと思う。
高齢者を長時間預けられる施設が必要だと思います。

(60～69歳)

昨年まで母を介護(ねたきり状態・5)していて、精神的に大変だったのは、診療時間外とか往診時間外に母の状態が悪くなった時(発熱など)、またなったらどうしようという不安。救急車を呼んで揺られて病院に行くほどでもない時、ただただ不安でした。
うちの近所で老老介護(夫94歳、妻88歳)的な夫婦があり、夫に少し認知症もあり、妻はいつも不安を抱えています。様子がおかしいと電話があっても、結果的に何でもないことが多い。救急車を呼ぶ必要はないから、また様子がおかしくなったら夜中でもいつでもいいから電話してください、という安心されます。私はおばさんに、夜中でもいつでも駆けつけるから遠慮なく電話くれるように伝えてあります。こんな不安を抱えて生活している、少し弱くなった老夫婦がいっぱい見えると思います。
24時間いつでも電話で相談できる看護師さんというのがあれば、心が楽になると思います。ひょっとして手続きすればあるのかもしれませんが、私には伝わっていません。
空き家などを利用して地域に人が入って住みやすくなるような、人口が多くなる工夫。
廃校などを老人介護センターなどに再利用すると、地域の人が近くに入れ、若い人の雇用につながるから良いと思う。都会から田舎に場所を変えるだけのこと。静かだし空気もいいし、思い切った方向転換をやらないと、板取地域が今後も存続して行くのが難しいかな。
同じ年代で話題にすることは、どちらかが1人になったら共同で暮らすのも良いかな。

(70歳以上)

今後板取は大変な高齢化社会になり、働く場のない子どもは戻るに戻れないと思います。認知症となった親はとても心配ですが、やはり住み慣れた板取で暮らせるように願っていますが、訪問介護する人もなく難しいです。板取はとてもいいところだと思いますが、高齢の単身者には問題がいっぱいいます。

関の情報誌も来るようになったので、孫たちと食事めぐりでもしたい。

中学校が廃校になった後、どうなるのでしょうか。老人が村外の知らないところ、遠いところへ入所し、寂しがらるから面会にも行けないという話をよく耳にします。場所的にも冬は日当たりも良く、夏は涼しい適所で建物も立派ですし、少し手を加えれば良いところになるのではないかと、素人ながらに思っています。いずれ、自分の身に降りかかることだと思います。

地域内の人々での弱者、高齢者支援活動には限界があると思います。

【生涯学習・スポーツ・イベント】

(16～19歳)

バイクトライアルのような、地域を活発にできるイベントがほしい。

(20～29歳)

板取村だった時に私は小中学生で、1年間の間にたくさんの地域イベントがありました。例えば、アラスカ研修、バイクトライアル、ホームステイのホストファミリーをやったり、地域対抗の運動会など、今ではどれもすごく良い思い出です。そういうイベントなどが無くなってから、板取の活気が無くなったと思います。

(30～39歳)

板取地域が今後も存続するためには、一番輝いていたバイクトライアル大会のような夢のある、ただのイベントではないようなものが1つでもあれば元気になれる。

冬にも町の人たちに板取に遊びにきてもらえるような、イベントのようなものがあると良い。

板取地域が今後も存続するためには…板取の知名度を上げる。具体的には、バイクトライアルの復活もしくは新しいものを取り入れる。モーターバイクや車のトライアル。でも交通が多くなり危なくなる。

(40～49歳)

関係ないかもしれませんが、先日のふれあい運動会の時に、毎年思うのですが参加人数が何人かわからないのに、おにぎりやお茶の用意はすごく無駄な出費だと思います。弁当は持参で良い。そうでもしないと人が集まらないのではなく、内容をもう少し考えたりする必要があるのではないかと。いつも最後に余るということをしていること自体がもったいない。

今ある施設で思っていることは、岩本地区にあるテニス場などはあまり稼働状況がよくないよううかがえるので、地域の方々の使用は無料にするなどの工夫をされたら、もっと設備が地域住民の交流や健康増進につながるのではないかと思います。

皆が楽しめるイベントをやった方がいいです。

(50～59歳)

関市が開催するアフタヌーンコンサートなど、いろいろな催し物が全部関市街ばかりです。板取のような遠いところはほとんど利用できません。同じ予算を使っても地域の格差を感じます。

ふれあい運動会の人数が何人来るかわからないのに昼食を用意する無駄。

板取は空気も水もおいしく、とても環境が良く住みやすい地域です。家にいるだけで心も身体もリフレッシュでき、とても過ごし易く人として人間として住む、生活するにはとても良いところだと思います。ただ、働くにはどうしても岐阜地区、関地区などへ出ていくしかない。また子どもたちも高校進学となるとバス通学が全てできるわけではないので、親も一緒に移住せざるを得ないという状況になっています。

特に感じることは、関市になってから板取が取り残されているような感じすらします。中央である関市にどうしても集中されるので、大きなイベントなどを僻地で開催するとか、各僻地を盛り上げる催し(今までならバイクトライアルなど)を考案、実現できたら良いと思います。

板取でイベントをやっても板取の人の参加が少なく、他方面の方が多いのはなぜか。住民が声をかけ合い誘うことも必要です。地元住民が協力、参加することこそがイベントの基本です。

(60～69歳)

板取地域はイベントが少ない。

各校下の体育館を利用し、スポーツの村(地域)にする。

自然を大切にするイベントの開催を希望します。

ラジオ体操の復活を希望します。

(70歳以上)

1日の始まりや健康づくりのためにも、合併前のように朝7時頃のラジオ体操が流れたらいいなと思っています。ラジオ体操はわずかな時間なのに身体の400の筋肉を動かすと言われていています。朝は忙しくて時間がないと思ってみえるかもしれませんが、それが体操が流れ出すと不思議と手足が自然に動くものです。このように体を動かすことによって、筋肉も増し、筋肉の中で熱がつくられ身体も自然に暖かくなり、寒い冬も乗り切ることができるのではないのでしょうか。板取地域住民として元気で年老いていきたいと思っています。

板取中学校の再編後の利活用については、早期に利用できる計画を確定し、28年4月に改修工事に着工できるよう、今から準備に着手してほしい。

【自然・環境保全】

(16～19歳)

板取はいろいろな面で不便なところがありますが、地域のかかわりとか自然がいっぱいあるところとか、いいところもたくさんあります。私は板取が大好きです。

(30～39歳)

草などが伸び放題状態になっていたり、ゴミが捨ててあるのが気になる。

猫の駆除。

(40～49歳)

私の家族は息子の小学校入学を機に、板取地域に子育てにふさわしい自然環境を求めて、引っ越してきました。毎日、素晴らしい清流と地域の素朴で温かい人々に感謝しながら、過ごさせていただいております。自分としては現在の環境において、これといって不満はございません。できることならもっとこの自然保全や、地域の人々との自由で開放的な交流の機会や、貢献などができればいいなと考えております。

(50～59歳)

夏の川が自慢できる。

アルミ缶、新聞紙等、街中では回収場所を設置し、持ち込みできるようになっている。板取内にも設置し、小中学校の資源回収の一部にするとよいと思う。

板取の自慢は自然であるので、地域内の草刈りや清掃を、ボランティア活動を有償にしてでも実践するとよい。

空気も良く自然が豊かなところが板取の魅力。板取温泉も湯がつるつるなところが自慢できます。

耕作放棄地の草刈り等に補助金を出して、地域住民で協力して管理したい。

上下水道料金を安くしてほしい。

田舎に住んでいるが田畑ができない。鳥獣被害が多く何とかしてほしい。自分の土地以外がどんどん荒れ果てて草が伸び放題。

板取の自然の山々、清流は岐阜の中でも魅力があります。住民も保守的ではありますが、親切な方が多く、助け合いの精神、他方面からのお客様にも親切にできると思います。

(60～69歳)

荒地（遊休地）を何とかしてほしい。太陽光発電とかわらび田にするとか。市として猪対策にもなるのでは。

大きな猿の捕獲檻を作って欲しい。（固定式で猿がたくさん入る檻）大きな檻でないと意味がない。

水のきれいな板取川は捨てがたい。

素晴らしい川がある。川浦、株杉の知名度をアップする必要がある。（水質もとても良い）

あじさい、桜の花、紅葉、新緑等の季節の美しさをいつまでも大切にしていけるため、住民の意識を高めていく。住民以外の方にも、自然を求めて板取へ訪れる方々にも、ボランティアとしていろいろな活動に参加していただけるような場所を提案していく。

自然を守る運動に、住民の協力が得られるような方法（策）を講じるべきだと思う。

自然環境を良くするために花粉をなくすように。板取もセイタカアワダチソウがはびこり始めていますので、早めに叩いてください。花粉症の人には耐えられない草です。

(70歳以上)

有害鳥獣の駆除は、H26.7.24の中日新聞に記載されていた「食害猿、檻で一網打尽」板取にも何ヶ所か設置できましたら、被害も減少し、農作物の楽しみもできるのではないかと思います。

株杉の周りの間伐、アジサイの除去をして、下の方から上の方へ良く見えるようにすれば、株杉として素晴らしい場所として自慢できるでしょう。

中国の言葉に「水を飲む時、井戸を掘った人のことを忘れません」というものがあります。この言葉が私は好きです。雑草のことですが、心ある方はよその土地でもきれいに刈ってくださることに感謝しております。せめて1年に1度でもよいので、自分の土地だけはきれいに刈って欲しい。昔、役場から山口県に旅行に行った時に、当時の村長さんが草がきれいに刈ってあるのを見て「見てみよ、きれいに刈ってある。板取もきれいにしたい」と言ってみえました。いつもこのことを思います。

地域山林の整備。道路わきの美化活動。 板取の良いところを末永く誇りに思われるようにしてほしいです。板取から村外に出た人たちにもっと板取のよいところを知ってほしいと思います。
犬の散歩で糞の片づけをする人がほとんどいない。固く注意してほしい。 板取に人を呼ぶのもいいけれども、車が多くやかましい。川でのバーベキューは中止してほしい。川が汚れる、ゴミをしていく。
自慢できることは、景観の良さ。
板取に住んでいて、空気、水のきれいなことが一番の自慢です。
犬を飼っている家が犬の散歩にいかれて、糞の始末をしない人が多く見えますが、後始末だけは責任を持ってするように、各自治会長さんが呼びかけてほしいです。犬の糞があるため草刈りなどの時に非常に不潔です。犬の散歩のときは絶対に糞の始末をするように伝えてください。 夏場、板取には沢山の人が入ってきます。一番困っていることはトイレです。夏場だけの仮設でもいいので置くように、市の方に伝えてはどうかと思います。各自治会に1ヶくらい。その掃除とかの問題もあって大変でしょうが、今時はどの家も上水の水でトイレを使っているから、水道代がすごく要るから困る。 自治会長さんから各家庭に伝えて欲しいことがあります。最近、家のまわりなどで家庭ゴミを燃やしている家がありますが、燃やせないことになっているにもかかわらず燃やす家があります。回覧でも良いので厳しく言ってください。
国道、県道から清流板取川が良く見えるように、道路沿いの木を切って景観を良くしてもらえたら良いと思う。冬場の日当たりも良くなり、事故も少なくなると思う。持ち主に協力をお願いすると良い。
自然が豊かで森、緑、水が最高。
板取は木材が良くなることと、田畑の草木がなくなることは、猪、猿、鹿の駆除が第一。
ゴミ袋について、不燃物、可燃物等を家の近くで燃やし、袋を使わない人が多くなり、使わなかった指定袋購入券で減量化奨励金の申請をするなど、我々には理解できないことが進行しているように思う。
とにかくゴミ袋の問題、他県ではスーパーで買えるのに、券がないと買えないなんてバカな話がありますか。
部落内はお互いにもっと美しくしてほしい。（部落の人たちで）他人の家の近くでは草刈りをしてもらわないととても迷惑です。気をつけてもらいたい。 市営住宅の敷地内をもっときれいにしてもらおうと良い。
高齢ですから何の役にもたちませんが、あくまでも理想として、板取川はいつまでも美しい川であってほしいです。今夏も大きくなった柳に毛虫が繁殖し大変でした。そして堤防に、川に降りる階段や通路、トイレ等の整備をと願っております。
板取は他に類を見ないほど、川や谷の水がきれい。何よりの財産だと思う。
住みよい地域にするためには、休耕田、休耕畑の荒れているところの草刈りが重要である。猿、猪などのすみかとなっているところを駆除することの方が先だと思う。なぜなら、安全安心の野菜ができるようになる。
板取には川浦溪谷、温泉、アジサイという素晴らしい名物があります。板取の活性化のためにもこれらを守ってほしいと思います。板取の顔であるアジサイが年々淋しくなっていくように思います。地域の税を上げてでも、よその地域に負けなくらい、美しいきれいな花が咲きますように守ってほしいと思います。
自然を利用した（山、川）観光村づくり。 荒廃地に花いっぱい運動。

【地域づくり全般】

（20～29歳）

・住みよい地域…鳥獣害との共生。	・地域の魅力…静かで心が休まる。
・板取地域…声かけ運動。自尊心を持つ。	
板取地域が今後も存続するためには、地域活性化が必要だと考えます。	

（30～39歳）

自然が豊かで素晴らしいところなので、もっとたくさんの人に来てもらったり、観光や何かで地元がにぎやかになってくれたらいいと思います。具体的な案がなくすみません。
以前にもこのようなアンケートに提案させていただきましたが、板取が今後も存続するためには、やはり若い人が板取を盛り上げないとダメだと思います。「ナイナイのお見合い大作戦」のお見合い開催地募集条件は、市町村単位での応募+独身男性が20人以上募れること。板取でまずは募集をかけて20人は最低でも集まりますように。

今のままでは板取は空き家だらけの何も魅力のないところになってしまいます。そうならないために、まず取り組むべきは「人口流出を防ぐこと」です。子どもがいなければ将来はありません。子どもを産むには結婚です。ナイナイのお見合いテレビもいいと思います。板取地域の未婚者が少しでも減るよう「婚活」のような取り組みがあってもいいと思います。美濃のイベントは大成功のようでした。

それから「教育」です。小規模での長所もあるが、競争心が養われないので、他校交流を増やすとか考えてほしいです。結局は子どもの数ですが。

「板取に住んでいてこんなにいいんだ」と思われるような取り組みをつくってほしいです。例えば、温泉が年に何回かは無料で利用できるとか。高校に通学する子に少し援助が出るとか。（岐阜や関まで通学者用のバスで送迎がある）引っ越してきた家族に温泉券プレゼントとか。無理のない範囲で歓迎の意を表してほしい。

「板取に住んでもらう人を募る」、空き家を活用するため、持ち主の申し出で空き家バンクをつくり貸し借りできるようにすると、少しは活気が出るのではないのでしょうか。仲介役となり、人と家をつなぐ。「メディアの力を借りて板取をもっと発信する」、インターネットやテレビで板取の魅力を発信し関心を持ってもらい、来てもらう。うまくいったら住んでもらう。ふれあい運動会は、e-girlsが来ただけで以前よりも活気がありました。メディアの力は最強です。住み続けたいので、どうかよろしくをお願いします。

（４０～４９歳）

過疎化による人口減はどうしようもない。税金や医療費について相当なメリットがない限り、住みにくいと思うのは当たり前。中学校の統合も、地元から子どもがいなくなる一因。

鮎がたくさん釣れる川、スポーツチームが安く利用できる施設（宿泊も）の整備、２５６号の郡上側の早期整備など、地域住民を増やすより、外部の人を継続的に呼べるように考えたい。

関市の中の板取としての役割を見直す。伝統や産業に乏しいので、自然環境を生かすしかないのではないか。

ふれあいバスの乗り継ぎ（待ち時間等）がすごく不便です。イベント等を行っても特定の人たちの負担が大きく、皆が楽しめるものになっていない気がします。道路等の草もボウボウになっていることが多く、以前の方がよく手入れされていたかなと思ってしまいます。

旅館業、土建業等、やめられるところも増え、若い人たちは出ていく一方です。子育てしていく方には不便さもあり、この先板取はどうなっていくのだろうと、少々不安になることが多い気がします。自然があつてのんびりと慣れた者は住みやすくて良いでしょうが、マイナス面の方が目についてしまいます。

（５０～５９歳）

魅力…星がきれい、水がきれい。

住まれる方を増やす…友達（若い人）が住みたいと話をしている。

自然豊かな環境を生かしつつ、長く住んでいられるような地域にできるといいと思います。観光だけに頼るのではなく、若い人の定着できる仕事の確保が大切だと思います。とても住みやすいところだと私は考えます。経済力が加わればいいですね。

企業誘致またはへき地ゆえの特典。（税金、学資等）

緑、水、空気。

板取ふれあいのまちづくり推進委員会なる組織は行政の失敗作。市と旧郡部を切り離す組織で税金の無駄。

板取を力強く指導するリーダーが必要不可欠だと思います。そのリーダーとなる人は私利私欲を捨て、公私混同をしない人が大切な必須条件となります。そのリーダーを中心として、仲良しグループではなく、多方面からの人材で構成された中心となる機関を設置し、活動するとよいでしょう。

また、せっかく引かれたインターネットも全くといってよいほど活用されていないので、外部に向かってどんどん情報を発信していくことが、地域の活力になると思います。どんな組織でも、仲良しの慣れあいの甘い甘い体質では予算を食いつぶすだけです。板取の将来を見据えることのできる、強い志を持ったリーダーを育成することが、今の板取には一番大切なことだと思います。

仏つくって魂入れずではいけません。地域委員会が単なる雇用対策や天下り機関にならないよう、強く強く希望します。

地域の魅力…自然に恵まれ伸び伸び子育てができる。

板取地域が今後も存続するためには…仕事づくり。（合併してから他地域の業者の参入が多くなり、仕事が減ったように感じる。）

（６０～６９歳）

１．皆で活発に意見を出し合う。 ２．皆で協力し合う。 ３．皆でできることからやる。

４．皆で夢を持つ。 ５．皆であきらめない。

村おこしという何かを立案し、そのことを中心に村人が気軽に集まり、年や男女の区別なく語り合える明るい村になればと思います。

第１に人口を増やすこと。これ以上減少しない工夫をする。現状では無理な問題かもしれないが、今できることは何なのか。小さなことでもいいから始めるのもいいのではないかな。合併してから板取地域の活動が先細りになってしまった。

住みよい地域云々は、各々の気持ちの持ち方。地域の魅力や自慢云々は、自らを磨き輝くこと。地域（板取）が云々は、じゃんけん力学の活用しだい。田舎は田があるから、先々ではデジタル（パソコン等）では通用せず、心（アナログ）がものをいう。
住みよい地域…煩わしさの変容しだい。 地域の魅力…四季の移り変わり。 板取地域が…元気で長生き。
住みやすい地域であること。経済的にプラスになることがある。教育に良い場所である。四季いろいろな果物ができる。今感じている、不便さ、不満を補う点を考える。
結婚して板取へ戻ってきたのは25歳の時でした。その時と比べると、現在は人口減少で人足も出来ない状態。地区を去った人たちも子育て等で私より大変らしいです。65歳になっても現役で働いている様子。私の方が心にゆとりがあるみたいです。ちなみに私は65歳ですが、二人世帯の中で一番若いです。 委員会立ち上げについて、大変良いことだと思いますが、補助金目当てで行事等することは、多くの人たちを巻き込み迷惑だと思う。私個人としては、これ以上関わりを持つことは不可能です。自治会、見守り、空き家の守り等、分刻みの毎日です。分かりますか？協力できることのみやります。 老後について、65歳になったら私にもやりたいことはあります。若い頃からの夢もかなえたいと思い、現在行っておりますが、地区で多くの役職があり、豊かな老後は望めません。いかが思われますか。一度の人生を傾けるほど大切なことですか。 体験塾などの事業も、立ち上げた人たちも参加しているようではない。人まかせの部分があり、事務局にお任せの部分が多いと思います。
この地域は板取の中で一番の限界集落なので、全ての役職が私たち夫妻にのしかかっています。先の見通しが全くない中で、何を心のよりどころにして生きていけばよいかということをして2人で考えております。何より健康であり、ストレスをためないようにしたい。自分の身は自分で守るということを常に考えています。家の中や外も少しずつ片づけておかねば、子どもたちに迷惑をかけると思いつつも、なかなか進まないのが現実です。ただ、空気と水のおいしさは素晴らしいと思います。 ここが存続するのは不可能です。それは2人も望んでいません。家もそのうちに壊して平屋にすると息子は言います。あとはそこら中が草原になるのですね。そのことに予算を使っていたいただきたいと存じます。業者委託で良いと思います。板取の人では無理なので…
関市の板取地域が今後も存続するためには、特産物、名物たるものには、携わる方の高齢化、後継者の不在等で望めません。それならば、地域性を利用して川浦の遊歩道の整備等、自然を利用した観光客を呼ぶのも一つの手だと思います。

（70歳以上）

未婚の男性があまりにも多すぎる。結婚する意欲も勇気もない。行政が指導するしかないでしょう。他人任せの人が多すぎる。
このアンケートを開ける前は目の前がパッと明るくなった。このことにより、板取も少しは良くなると期待した。しかし、内容を見てがっかり。何の意味もない、ただ形ばかりのアンケートだ。 板取役場内でもそんな気がする。中の人への対応が頼りない。本人はものすごく熱心に取り組んでいるのだろうが、真剣さが見えない。市役所のお手伝いをしているだけに見える。 例えば、一里保木の通行止めの連絡なども、バスの時間が過ぎてから放送したり、通学などバス停へ行ってから放送を聞いて困ったことなど、役場へ電話したら、まだ（放送の？）時間になっていなかったのだからと言って、電話を切ってしまったとか。面倒くさいことはやらない方が市役所に受けが良いのかもしれないと感じた。 元の板取の時のように、住民が熱心にいろいろなことに頑張って活動しても、認めてくれる人も村会議員もいないので、何をやってもやる気がしない。やりがいも湧かない状況になってしまっている。 例えば、昨年もそうだったが、板取の盆踊り大会のチラシ等を見ても、踊らない人は抽選券がもらえないとか。これを見てがっかりした。踊れる人も踊れない人も一堂に会して楽しく盛り上げようならともかく、このように全てにおいてがっかりの板取地域づくりを？ 住みよい地域をつくるためには、支所長にその地域のことは相当の決裁権を与えてもらい、板取、洞戸、上之保等、本所なみの対応ができれば、何ごとにおいても板取支所のある意味がある。広報の放送についても、地区の小さな行事でもまめに知らせてもらえば、参加する人も多くなるだろう。放送規約を盾にして、あまり放送されないもので、いろいろの行事等を知らないことが多い。
若い人の定住。子育て支援。老人たまり場、憩いの場の設置。 今年、関市合併10周年。板取にとって良いと思ったことはない。28年度中学の統合。板取のシンボルでもある21世紀の森公園一帯を皆の英知を出し合っていくことが、板取の今後につながると思います。
支援員制度は本当に有難く思っております。さらに良くするためにも、バランスの良い支援をお願いします。誰にお願いすれば良いのか分かりません。バス内でもこのようなお話が何度も出ましたので、記入させていただきました。

【その他】

(50～59歳)

地の利に恵まれているのかいないのか、不満ももらさず周りの年の上の方々は本当に上手に日々暮らしてみえると思います。けれども、おひとりおひとり見てみますと、本当に生活が厳しいなと思える人がおられます。板取全体、人心がずさんでいる気がしておりますので、皆で心をひとつにできるような何かが起きてくれると嬉しいです。

テレビを見ていると、板取にはないような素晴らしい感情を惜しげもなく出される立派な方が本当に大勢いらっしゃるの、もう少し板取の住民の方も感動できて、人と別れる時には泣くし、自分の欠点とか悪習慣を改めるし、幸せにすぐになれるような、すごく素敵な経験を皆で共有したいです。そういうところへ私は住みたいです。例で言いますと、郡上の盆踊りの番組を見ていたら、踊る阿呆と言われても踊り好きで熱い方々がたくさんおられ、楽しそうに踊られているので、そういうところに住めたら嬉しいと本当に思いました。

板取を知る人が行政に何人いますか。ゆっくりと生活の時間、春夏秋冬を感じる。今あるものを大切に、新しくするより守って。このアンケートを考えた人は昔の板取を知っている人ですか。昔は住みよいところだった。合併後、歯車が合わなくなったように思う。

市街地中心の行政の事業内容にうんざりする。新しいものや祭りごとばかりに税金が使われ、昔からある素晴らしいものには目もくれず、口先ばかりで清流板取とか、自然が美しいとか、空気がきれいとか、立て前はすごくいい。

現状はどうでしょうか。草刈りにしても国道や県道ばかりで、市道は荒れ放題です。昔は道路を走っていても美しい川が見えたけれど、今は葛のつる草やススキなどで全く見えない。清流を楽しみに来る県内外の観光客が置いていくものは、騒音とゴミ。山から山菜を持って行く。他人の私有地に平気で入るドロボー。そのゴミにカラスが寄り、雑草の中から猿や猪が出て農作物を荒らしていく。駆除よりもすることがあるはず。

あと5年、10年もすれば、板取は半分以上がなくなると思います。小中学校もなくなり、バスの運行もきつとなくなることでしょう。私たちが介護される年齢になる頃には、介護する側も少なくなり、まるで刑務所のようなところで余生を送るのではと心配です。

人の暖かみを感じないハイテク社会になっていくと同時に、私たちはついていけないので、取り残されてそのうち邪魔にされて死を迎えるのだと。今の板取より良くなることはないと思います。

福島県や広島県のように、自然災害で住めなくなるところもあるけれど、板取は過疎化していついていく。地域全体が人だけでなく、自然も過疎化しているのです。良いものは全て市街に吸収されていく。自分たちの子どもも口を揃えて帰ってくる気はないというくらい、全てにおいて不便を感じます。

回答選ぶのに迷いました。難しい。この回答どのように評価され影響するのか。若い人は外に、老人世帯（高齢化）の中、不安は深刻。老夫婦、一人暮らし、自分のことができるうちは良いが、ボケたり病気になれば施設、病院です。体力、お金、精神的な負担がのしかかります。人と人との関係も希薄になりがち。助けることも限度が。自分の家のことは自分の家でになります。寂しいことですが。希望があっても光が見えず、どこか諦めてしまうのでは。一人一人の意識が重要だと思います。変えるのは他人ではなく自分なのですが。今の世の中、なかなかポジティブになれませんね。なんとかしたいと思うのですが、現状維持。

(60～69歳)

このアンケートは、板取地域の各部落や板取の人々の性格がよくわかっていないアンケートに思えます。これはあなた方の押しつけにすぎないと思う。板取が合併してから良くなったと思いますか。逆にあなた方に聞きたいです。もっともっと板取の人たちに直接聞いてください。これはあなた方の手抜きです。机に座っていないで、もっと動いて1人1人の話や困っている人の話を聞けよ。これで板取が良くなると思うのか私は聞きたい。なまけるな。逆に板取に仕事を持ってくるようにしろ。こんなアンケートはだめだと思う。もっと考えてください。

自治会は役場の下請けになっている。市のことは市職員がやるように。

決して住みやすいとは言えないが、住めば都でしばらくは（今後20年くらい）この地域に住み続けるつもりだ。

板取を日本の真ん中にしましょう。

何もない。市町村合併の時から今のような気がするしていました。当時行政は、住民への説明も十分ではなく、ただ合併へ急いだ気がしました。遠い関からは見えない、聞こえない板取のような気がします。

70歳近くになっても生活のために仕事をしなければなりません。今、何とか仕事も少しずつですがありますが、地域の行事にも参加できませんし、休みもなく働いています、体の続く限り。先のことは不安がいっぱいあります。

アンケートの質問は、意見多数への誘導ではないかと思われる。

この先、不安だらけ。自分の体力、家族、地域、年金ぐらし、話せばこれに尽きる。

(70歳以上)

今の板取には何もありません。

私ども、年をとってききましたので大変ですが、なるべく若い者に心配をかけないように生活したいものです。

官庁のOBのリーダーでなく、民間から公募等をして選ぶべきである。 板取は川がメインだが、郡上市などの川と比べると川原の草刈りなどが全くできていない。川に入る道もなく、鮎釣りの客が板取の川は全くきれいにしていないから困ると、どのお客さんも愚痴を言ってみえる。板取川上流の組合長さんに申し出てください。お客さんが沢山来てもらって初めて鮎も釣って楽しく来ていただくために、おもてなしの気持ちで夏場を迎えるように、川の整備に金をかけてもらえるように申し出てください。漁業組合のことはこのアンケートとは違いますが、この場を借りて申し訳ありませんが、伝えてください。 水道代、もう一度1軒1軒調べてほしい。人数の割に少なく、前に井戸水は使う人は届け出てくれと言われていたが、出さない人もいる。二層の洗濯も垂れ流しているそうです。 この限界集落で人が少なくなっている中で、何を立て直そうと思うのですか。その前にまずやることがあるのではないのでしょうか。自分たちが主体になるだけの助成金を取るだけでは困ります。今までもアンケートをとっても回答なしです。必ず回答してください。
